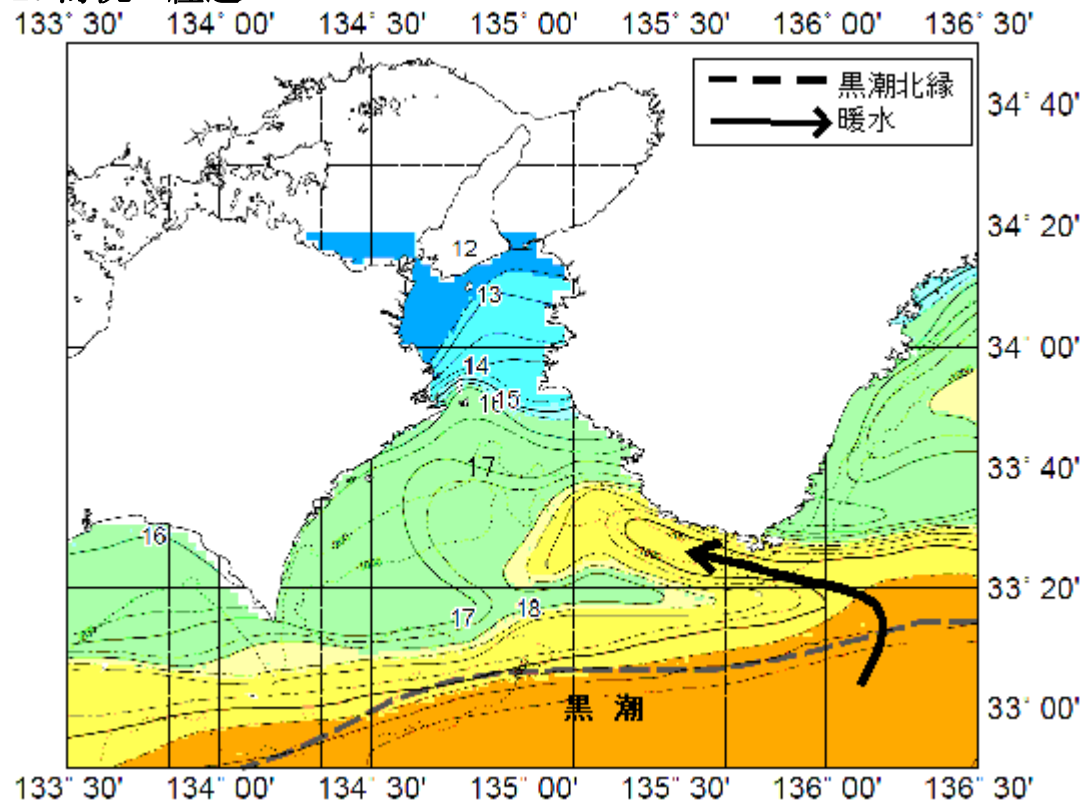


1. 海況の経過

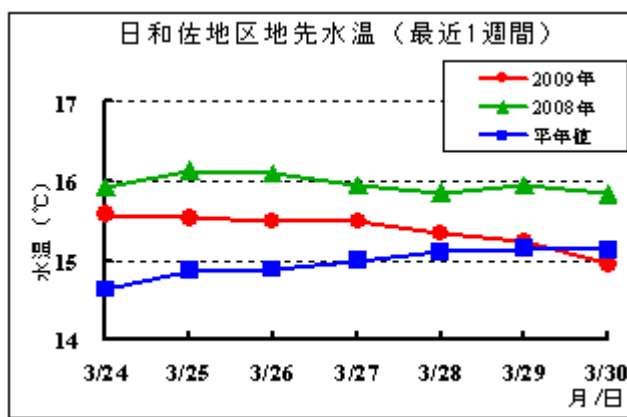
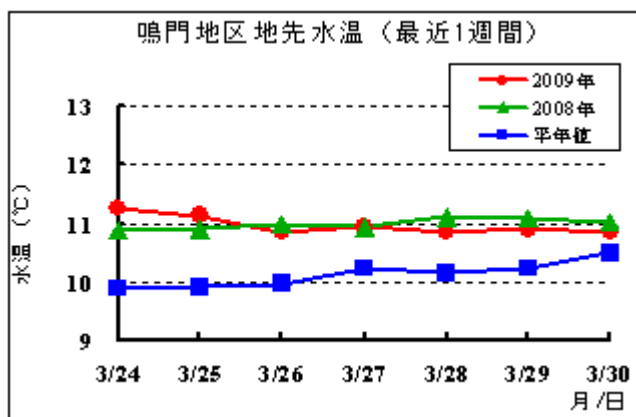


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.3.30)を示した。黒潮は、室戸岬沖と潮岬沖でやや離岸している。室戸岬以西の黒潮は、足摺岬沖と都井岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は20～22℃台である。表面水温は播磨灘が11℃台、紀伊水道が12～16℃台、外域が15～18℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県側の潮岬沖から暖水が流入している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の10.7～11.8℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の14.3～15.5℃、牟岐地区は「やや低め」～「高め」の13.6～16.9℃で推移した。



2. 漁況の経過

集計期間中、紀伊水道と紀伊水道外域に暖水の影響が少なく、タチウオが不漁であった。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.4トン(1日1隻当たり30kg)、カタクチイワシが1.2トン(同410kg)、キビナゴが1.1トン(同365kg)、スルメイカが0.2トン(同17kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.6トン(同44kg)、中主体にアカカマスが0.7トン(同82kg)、大主体にイシダイが0.3トン(同31kg)、中主体にイボダイが0.5トン(同42kg)、小主体にスルメイカが0.9トン(同83kg)、ブリが1.5トン(同139kg)、小小主体にマアジが0.8トン(同86kg)、中主体にマダイが0.2トン(同16kg)、メジロが1.2トン(同91kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、中主体にゴマサバが0.6トン(同18kg)、大・中主体にタチウオが0.3トン(同31kg)、ハマチが0.2トン(同69kg)、特大主体にマサバが2.3トン(同66kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 3月23日～3月29日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	13	387	30	
		カタクチイワシ	3	1,230	410	
		キビナゴ	3	1,094	365	
		スルメイカ	12	204	17	
大型定置網		アオリイカ	13	569	44	大主体
		アカカマス	9	740	82	中主体
		インダイ	9	283	31	大主体
		イボダイ	11	462	42	中主体
		スルメイカ	11	912	83	小主体
		ブリ	11	1,527	139	
		マアジ	9	774	86	小小主体
		マダイ	13	211	16	中主体
	メジロ	13	1,186	91		
	釣り	ゴマサバ	36	637	18	中主体
タチウオ		11	338	31	大・中主体	
ハマチ		3	206	69		
マサバ		34	2,256	66	特大主体	

週間予報:

黒潮は、室戸岬と潮岬でやや離岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の11℃台、日和佐地先で「平年並み」の15℃台前半で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄釣りで、カツオが15.3トン(1日1隻あたり22kg)、ビンナガが17.1トン(同25kg)、定置網で、ブリが62.2トン(同4.1トン)、ワラサが15.8トン(同1.1トン)、マアジが6.2トン(同413kg)、釣りでサバが0.9トン(同18kg)、イサキは0.3トン(同7kg)、パッチ網でシラスが5.9トン(同148kg)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上